

令和6年度普及活動アルバム

南信州農業農村支援センター

南信州農業農村支援センターでは、「第4期長野県食と農業農村振興計画」の2年目として、同計画の6つの重点戦略に基づいた普及活動を展開しました。特に地域で重要かつ緊急的に取り組むべき課題として、「改・新植に係る課題解決による日本なし産地の生産力向上」と「データ活用による魅力あるきゅうり産地の振興」の2課題を重点活動課題に位置づけ、プロジェクト活動として取り組みました。

また、各作目の生産振興や地域振興についても、一般活動課題に位置付け、多様な担い手の確保育成や生産力の向上、地域の活性化について取り組みました。



【4月～10月】 有機農業の体験支援 (飯田市オーガニックファーム)

今、有機農業への関心が高まっています。管内の有機栽培を志向する農家グループ『南信州ゆうき人』は、一般の人にも有機農業への理解を広げるため、有機農業体験講座「飯田市オーガニックファーム」を4月～10月の毎週土曜日午前中に開催しており、支援センターもその活動を支援しました。



【6月】【重点課題】 ジョイント仕立て現地検討会

日本なしジョイント栽培の早期成園化に必要な新梢管理や着果管理の技術統一を図るため、6月5日にJA、下伊那園協、県などの関係者で現地検討会を実施しました。

定植2年目の苗木の棚下への曲げ込み方法の検討や、平棚ジョイント3年目の着果管理方法及び新梢管理などについて検討しました。



【6月】

新規就農者激励会の開催

南信州農業の新たな担い手として期待される新規就農者の激励会を6月3日に開催しました。新規就農した10名の出席者が自己紹介と併せて現状や課題、今後の展望について想いを語りました。

続いて青年農業者で組織する団体（JA青年部・農業士・管内の2つの農業青年クラブ）から活動紹介があり、加入が呼びかけられました。



【6月】

大豆のドローンによる除草剤防除

管内各地で水稲、大豆、そば等で、ドローンを利用した病害虫や雑草の集団防除の取り組みが増えてきています。

6月19日には阿智村と連携し、大豆畑での除草剤散布の実演会を行いました。

村内外から参加した20名の農業者等はドローンによる薬剤散布の的確さや、作業時間の短さに感銘を受けていました。



【8月】

水田作現地検討会の開催

JAみなみ信州、長野県農業共済組合、支援センターなど16名が参加した稲作現地検討会を8月8日に開催しました。

水稲奨励品種決定調査ほ場や「にじのきらめき」の施肥試験及び栽植密度試験のほ場など4か所を巡り、生育状況の確認をする中で地域の課題についても意見交換をしました。

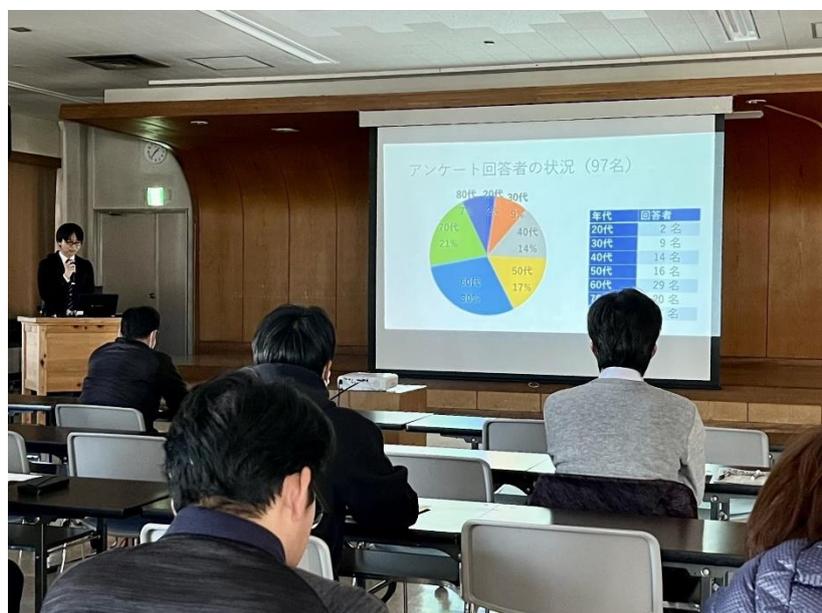


【12月】

源助蕪菜・源助大根の生産振興

地域での認知度向上などを目的として、12月13日に飯田合同庁舎において行われた源助蕪菜の販売会の開催を支援しました。

一般来庁者による購入も多く、準備した源助蕪菜や加工品（蕪菜や大根の漬物）は完売するなど好評でした。



【3月】【重点課題】

きゅうりの環境モニタリングデータ活用研修会

きゅうり栽培において、環境モニタリングデータを活用し、栽培環境を的確にとらえた栽培管理や優良栽培者の技術継承などを図るため、3月7日に飯田合同庁舎で研修会を開催しました。

きゅうり生産者10名を含む計30名が出席し、モニタリングデータの活用方法について意見交換も行われ、理解が深まりました。



【通年】

農業基礎講座（スキルアップセミナー）の実施

新規就農者や農業研修生を対象に先輩農業者のほ場巡回や交流会を行うとともに、トヨタ式カイゼンや複式農業簿記の講座など、年間7回の講座を開催しました。延べ52名の受講があり、就農時の心得として活用が期待されます。



**【通年】
スマート農業技術の導入支援
（花き）**

花きでもデータ活用の要望が上がってきており、今後の参考となるモニタリング機器の試験設置を実施しました。昨年度2台で試行したところ好評であったため3台追加で設置しました。観測データは設置農家とJ A・支援センターで共有できるので、関係者間での情報交換が始まりました。



**【通年】
直売所への農産物供給の促進**

豊丘村では、直売所や直売所併設のレストランにおいて村内産野菜の需要が増加し、供給が不足している状況となっています。野菜作り講習会を開催し、栽培の基礎から出荷までの流れを学ぶことにより、受講生（15名）の出荷への意識を高めることができました。



**【通年】
農業参入食品企業の円滑な
参入への支援**

阿南町では遊休荒廃地対策として、食品企業が使用する原料りんごを自社生産するためほ場整備を進めています。ほ場の準備からりんご生産に至るまで、当センターも含めて多くの関係機関が連携して支援しています。その一環で、7月に松本市のりんご高密度植栽培の先進地視察を行いました。